

科目名 Course Name	インターンシップ I (医療事務) Internship I						
年次	1 年	期別	前期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	戸井田睦美						
連絡先(質問等)	本館 2 階研究室またはメールにて対応。						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP1、DP2、DP3						
授業の概要と到達目標	<p>インターンシップ II・III の事前学習として、インターンシップの意義や心構えについて学ぶとともに、ビジネスマナー、コミュニケーション能力の向上を目指し、実践的に習得する。</p> <p>① 社会人として相応しい身だしなみ、言葉遣いを身につけ、心を込めた明るく爽やかな挨拶ができるようにする。</p> <p>② インターンシップ実習生の立場を自覚し、明確な目的意識を持ち、実習の目標を説明できるようにする。</p> <p>③ 仕事の基本であるコミュニケーション能力を身につけ、報告・連絡・相談ができるようにする。</p>						
授業の方法	講義、マナー指導、発表、事例研究を取り入れ、実際のインターンシップを想像できるように演習を行う。						
学習成果	L01	働くことはどういうことか、社会人として必要な心構えや、知識・技術はどのようなものか、自身のインターンシップの意義について説明することができる。					
	L02						
	L03	キャリア(職業人生)、コミュニケーション能力、チームワークの力を身につけることができる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	個別の対応・支援を行う。						
教科書/参考図書	医療事務講座医科・クリニックテキスト 2「患者接遇マナー」(ニチイ学館)、資料配布						
履修上の留意点やルール等	<p>● インターンシップ費用(本学手数料および各自の実習費負担として、交通費、通信費、スーツなど) ● 欠席、遅刻は減点(欠席 4 点、遅刻 3 点)とする。 ● 費用、その他詳細は授業で説明する。</p> <p>● 事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分とする。</p>						
担当教員の実務経験	● 実務経験(職種:病院事務、職歴:通算 8 年)病院事務としての経験を医療機関でのインターンシップの心構えを説明する際に活かす。						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	授業に積極的に参加し、疑問や不明点を解決する姿勢を持つ。	30			
レポート/作品	レポートの提出期限日を守り、自分の考えを論理的にまとめている。	20			
発表	発表内容(十分な考察、発表媒体をわかりやすくまとめている)や発表態度で評価する。			50	
小テスト					
試験					
その他					
合 計		50		50	

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス、インターンシップまでのスケジュールと諸手続き、これまでの実績と受け入れ先について
	事前・事後学習	授業内容について不明な点があれば積極的に質問に行く。準備物について確認する。
2	授業内容	ビジネスマナーの基本、受講生の就業体験についての発表、インターンシップ先希望調査
	事前・事後学習	希望するインターンシップ先について考えておく
3	授業内容	インターンシップとは何だろう① インターンシップの意味を考える
	事前・事後学習	授業内容について不明な点があれば積極的に質問に行く
4	授業内容	インターンシップとは何だろう② 学生に求められるもの
	事前・事後学習	インターンシップの意義・心得についてレポートを作成し、次回授業時に提出する
5	授業内容	心を伝えるコミュニケーションスキル① 挨拶、身だしなみ、言葉遣い
	事前・事後学習	日常生活において実践する
6	授業内容	心を伝えるコミュニケーションスキル② 文章の書き方、話し方、メモのとりかた
	事前・事後学習	日常生活において実践する
7	授業内容	心を伝えるコミュニケーションスキル③ 電話のかけ方、電話の受け方
	事前・事後学習	日常生活において実践する
8	授業内容	心を伝えるコミュニケーションスキル④ プラスアルファの「心」を伝えるコミュニケーション
	事前・事後学習	日常生活において実践する
9	授業内容	業種や職種の研究① 企業や団体、職種について調べる
	事前・事後学習	プレゼンテーションの準備と発表練習
10	授業内容	業種や職種の研究② 企業や団体、職種について調べたものを発表し共有する
	事前・事後学習	プレゼンテーションの準備と発表練習
11	授業内容	先輩の事例から学ぶ① ほめられたこと
	事前・事後学習	授業内容について不明な点があれば積極的に質問に行く
12	授業内容	先輩の事例から学ぶ② 困ったこと・失敗したこと
	事前・事後学習	授業内容について不明な点があれば積極的に質問に行く
13	授業内容	インターンシップの意義について考え目標を立てる
	事前・事後学習	インターンシップの目標についてレポートを作成し、次回授業時に発表、提出する
14	授業内容	インターンシップの目標について発表を行う
	事前・事後学習	発表準備、レポート提出の準備
15	授業内容	まとめとインターンシップⅡの学びについて
	事前・事後学習	授業内容について不明な点があれば積極的に質問に行く。準備物について確認する。

科目名 Course Name	インターンシップ I (観光) Internship I (Tourism)						
年次	1年・2年	期別	前期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	斎藤 清						
連絡先(質問等)	本館 1F 研究室か、メールで対応。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP1,DP2,DP3			学習の順序	カリキュラムマップを参照		
授業の概要と到達目標	<p>インターンシップの事前学習として、インターンシップの意義や心構えについて学び、またビジネスマナー・コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力の向上を目指し、実践的に修得する。本授業インターンシップ I、後期科目インターンシップ II へと継続して学習する。同時に観光関連企業の現状を学ぶ。</p> <p>①社会人として相応しい身だしなみ、言葉遣いを身に付け、心を込めた明るく爽やかな挨拶ができるようにする。</p> <p>②インターンシップ実習生の立場を自覚し、明確な目的意識を持ち、観光産業での実習の目標を説明できるようにする。</p> <p>③仕事の基本であるコミュニケーション能力を身に付け、報告・連絡・相談ができるようにする。</p>						
授業の方法	主にビジネスマナーの修得に重点を置いて講義・マナー指導・報告・プレゼンテーション(発表)・事例研究等を取り入れ、実際のインターンシップを想像できるように演習を行う。又各個人の将来目標検討に向け、毎時間交替で個別面接の時間を設定する(1人15分程度x2回)						
学習成果	L01	①働くということはどういうことか、社会人として必要な心構えや、知識・技術はどのようなものか、自身のインターンシップの意義について説明することができる。					
	L02	①働くということはどういうことか、社会人として必要な心構えや、知識・技術はどのようなものか、自身のインターンシップの意義について説明することができる。 ②観光関連企業への理解を深め、各業種の現状と役割を説明することができる。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	個人面接を複数回行い、日常的悩みや将来希望等について議論し、課題に対するフィードバックを行う。						
教科書/参考図書	適宜プリント等を配布する。						
履修上の留意点やルール等	<p>後期のインターンシップ II も原則セットで履修すること。夏休み中に実施の「日本の宿おもてなし検定(初級)」の受験を推奨する。春季休暇中のインターンシップ実習に原則全員が参加すること。参加費用、その他詳細はインターンシップ II の講義内で説明する。</p> <p>●3分の1以上欠席した場合は、理由の如何を問わず単位認定しない。</p> <p>●遅刻厳禁、私語は慎むこと。授業途中での無断退出禁止。携帯電話の使用・飲食は厳禁。</p> <p>●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回45分とする。</p>						
担当教員の実務経験	<p>●実務経験(職種:旅行業、職歴:通算31年)</p> <p>国内旅行実務の多様な経験を、学生の将来進路の選択に際し活かす。</p>						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	日頃の身だしなみ、挨拶、マナー、報告・連絡・相談の実践ができ、指導されたことは速やかに改善することができること。将来の進路に直接関わる授業であることを認識し積極的に取り組むこと。	20	20		
レポート/作品	授業内で課す課題や提出物に関し真摯に取り組み、しっかりとした内容が伴っていること。提出期限を遵守することも評価ポイント。	15	15		

佐野日本大学短期大学 2020 年度シラバス

発表					
小テスト					
試験					
その他	インターンシップ意向調査や個人面談等に真摯に対応し、自分の将来につき真剣に考えている。	15	15		
合計		50	50		

回数		授業計画
1	授業内容	オリエンテーション（講義の進め方） インターンシップとは何か・インターンシップの意義
	事前・事後学習	オリエンテーション内容の再確認
2	授業内容	お客様対応とホスピタリティ 第一回インターンシップ意向調査
	事前・事後学習	インターンシップ先希望につき考えて来る。
3	授業内容	ビジネスマナーの基本①
	事前・事後学習	最も基本的なビジネスマナーにつき復習する。
4	授業内容	ビジネスマナーの基本②（挨拶の練習と姿勢）
	事前・事後学習	挨拶の種類と動作の違いについて復習する。
5	授業内容	言葉遣い
	事前・事後学習	ビジネスで使用される用語類をしっかりと覚える。
6	授業内容	応対マナー①
	事前・事後学習	応対時に守るべき事柄、やってはいけない事柄を学ぶ。
7	授業内容	応対マナー② 第二回インターンシップ意向調査
	事前・事後学習	応対のテクニック（応用）をしっかりと身に付ける。
8	授業内容	電話のマナー（電話対応の練習）
	事前・事後学習	電話の受け答えの基本を身に付ける。
9	授業内容	会話のマナー
	事前・事後学習	社会人としての言葉遣いをしっかりと身に付ける。
10	授業内容	履歴書の書き方
	事前・事後学習	履歴書の基本的な書き方とポイントを学ぶ。
11	授業内容	ビジネス文書①（文書の基本と作成手順・作成実践） 第三回インターンシップ意向調査
	事前・事後学習	設定されたモデルケースに基づきビジネス文書作成の練習をする。
12	授業内容	ビジネス文書②（メール送信ルール他）
	事前・事後学習	ビジネスメール送信時のルールと注意事項を学ぶ。
13	授業内容	ユニバーサルサービス
	事前・事後学習	時代の要請としてのユニバーサルサービスをしっかりと身に付ける。
14	授業内容	お客様からのシグナル対応
	事前・事後学習	クレーム処理の基本的対処方を学ぶ。
15	授業内容	まとめ及び後期に向けて・日本の宿おもてなし検定について
	事前・事後学習	推奨資格の日本の宿おもてなし検定につき準備する。

科目名 Course Name	インターンシップ(経営ビジネス・スポーツ, AI・ロボット) Internship I						
年次	1	期別	前期・後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	亀田和則						
連絡先(質問等)	講義棟 2 階の研究室か、メールで対応。オフィスアワーは授業担当時間外。						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP1 DP3						
授業の概要と到達目標	<p>インターンシップの事前学習として、インターンシップの意義や心構えについて学び、また、ビジネスマナー、コミュニケーション能力の向上を目指し、実践的に習得する。</p> <p>①場面に応じた身だしなみ、相手の立場に応じた言葉づかい、自分から挨拶ができるようにする。</p> <p>②仕事の基本である連絡・報告・相談ができるようにする。</p> <p>③インターンシップの目標を明確にし、説明することができるようにする。</p>						
授業の方法	講義、マナー指導、報告、発表、そして事例研究を取り入れ、実際のインターンシップを想像できるように演習を行う。						
学習成果	L01						
	L02	働くために必要な社会人としての基本的態度を説明することができる。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック							
教科書/参考図書	教科書:ワークで学ぶ インターンシップリテラシー						
履修上の留意点やルール等	ビジネス実務マナーを履修すること。スーツを必ず着用する。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分とする。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	テキストのワークに向かう態度 予告なしで 2 回提出させる 満点の条件は「文字、内容」がそれぞれ「丁寧に書かれた文字で読みやすい、記述内容が充実しており説得力がある」である。		20		
レポート/作品					
発表	インターンシップ報告会 満点となる条件は「内容、構成、話し方」がそれぞれ「強く印象に残る内容、論理的な構成になっており聴衆に深い理解を促す、姿勢・声の強さ・声の速さが説得力を与える」である。		20		
小テスト					
試験					
その他	インターンシップ先からの成績 満点の条件は「実習先からの評価が優れている」である。		60		
合計			100		

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス インターンシップまでのスケジュールと諸手続き、これまでの実績と受入先について
	事前・事後学習	事後:あなたがインターンシップでやりたい仕事内容を考える
2	授業内容	受講生が就業体験について発表する
	事前・事後学習	事前:就業体験についてまとめておく(期間、仕事内容)
3	授業内容	<第1章 インターンシップとは> pp.06-09 先生の話聞いた後、以下のワークを行う。 ●ワーク1(p.07):インターンシップに参加するメリット(ひとりで) ●ワーク2(p.08):学生に求められる積極性とは(グループで) ●ワーク3(p.09):自分自身の社会性について考える(ひとりで)
	事前・事後学習	事後:p.09 の理解度チェックに解答を記入する
4	授業内容	<第2章 心を伝えるコミュニケーション・スキル> pp.10-14 「p.10 の(1)身だしなみ」～「p.14 の(3)指示の受け方、メモの取り方」 先生の話聞いた後、以下のワークを行う。 ●ワーク1(p.10):身だしなみチェック(ペアで) ●ワーク2(p.12):お辞儀と挨拶のチェック(ペアで)
	事前・事後学習	事前:自宅で保護者等に身だしなみチェックをしてもらう
5	授業内容	<第2章 心を伝えるコミュニケーション・スキル> pp.14-17 「p.14 の(4)電話の受け方、かけ方」～「p.17 の(7)内部情報の取り扱い」 先生の話聞いた後、以下のワークを行う。 ●ワーク3(p.16):電話対応でよく使う言葉(ひとりで)
	事前・事後学習	事後:p.17 の理解度チェックに解答を記入する
6	授業内容	<第3章 業種や職種を調べよう> pp.18-23 先生の話聞いた後、以下のワークを行う。 ●ワーク1(p.20):業種、業界、企業・団体について調べてみよう(ひとりで) ●ワーク2(p.21):職種について調べてみよう(ひとりで・グループで) ●ワーク3(p.22):実習希望先の企業・団体について調べてみよう(ひとりで) ●ワーク4(p.23):取り組みを考えてみよう(ひとりで)
	事前・事後学習	事後:p.23 の理解度チェックに解答を記入する
7	授業内容	<第4章 先輩の体験からの学習(1)> pp.24-26 ●ワーク1(p.25):今、不安に思っていること(ひとりで) ●ワーク2(p.26):先輩の体験談(ひとりで)
	事前・事後学習	事前:ワーク1 事後:p.26 の理解度チェックに解答を記入する
8	授業内容	<第6章 インターンシップのための履歴書> pp.35-40 先生の話聞いた後、以下のワークを行う ●ワーク1(p.36):よい履歴書、悪い履歴書(グループで) ●ワーク2(p.38):履歴書を作成する(ひとりで)
	事前・事後学習	事後:p.40 の理解度チェックに解答を記入する 事後:履歴書を作成し、次回の授業で提出する
9	授業内容	<第7章 社会人としての自覚とコミュニケーション> pp.41-49 先生の話聞いた後、以下のワークを行う ●ワーク1(p.45):敬語、接遇用語、クッション言葉を使ってみよう(ひとりで) ●ワーク2(p.46):積極性をどうアピールするか(ひとりで) ●ワーク3(p.48):メールの返信(ひとりで)
	事前・事後学習	事後:p.49 の理解度チェックに解答を記入する
10	授業内容	<第8章 事前訪問の目的と注意点> pp.50-56

		先生の話聞いた後、以下のワークを行う ●ワーク1(p.54):アポイントメントの取り方(ひとりで・ペアで) ●ワーク2(p.55):実習先を訪問しての失敗例(ひとりで・ペアで)
	事前・事後学習	事後:p.56 の理解度チェックに解答を記入する
11	授業内容	〈第9章 直前にすべきこと・実習中に気を付けること〉 pp.57-64 先生の話聞いた後、以下のワークを行う ●ワーク(p.59):インターンシップの目的と目標を明確にする(ひとりで)
	事前・事後学習	事後:p.64 の理解度チェックに解答を記入する
12	授業内容	〈第10章 インターンシップ終了後にすべきこと〉 pp.65-72
	事前・事後学習	事後:今まで学習したことを復習する
13	授業内容	インターンシップ先に電話をかける練習(ペアで)
	事前・事後学習	事前:インターンシップ先をあなたの中で決めておく
14	授業内容	インターンシップ報告会
	事前・事後学習	事前:発表者は報告内容をパワーポイントで作成する
15	授業内容	実習先への礼状送付
	事前・事後学習	事前:p.66 をみて予習する